飯報 たつおか

発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館
広報委員会
印刷所
龍共印刷株式会社
上郷町黒田電(22)5353

減反で揺らぐ兼業農家

農産物価格互助制度に期待

すんなり目標は達成したが

▽…　昭和四十六年から始まった減反は、今年から水田利用再編対策と…△
▽…　呼ばれ、十ケ年計画で全国で昨年の約二倍の一七〇万トン（四〇万…△
▽…　ha）と厳しいものである。竜丘では、一三一haに対し十八・五％の…△
▽…　二〇・三haが割当てられた。今年は特に各農家へ面積が示され、三…△
▽…　月中に減反計画書が提出された。目標に近い一九・九haが計画され…△
▽…　ているが様々な農家の不満や悩みが多く、実施段階を注目したい。…△

今年から始まった水田利用再編成対策は、米生産調整・稲作転換対策・水田総合利用に続く四期目の施策で、水田の高い生産力を活用して総合的な自給力を図る目的とされている。転作出来ない農家は農協へ預託（管理転作）も出来る。また、実施計画を立てる単位部落で目標以上に達成されれば計画加算金が加算される。反面、未達成分は翌年に上乗せされ、休耕は許されない。十アール当りの奨励金は、特定作物（大豆・麦・そば・飼料作物）永年性作物（果樹・桑・アスパラ）は六万一千円、一般作物四万六千円となっている。奨励金の出ない作物は、でん粉・アルコール原料用甘しょ・馬鈴しょ・こんにゃく・小豆である。

竜丘の減反計画は表の様に示されている。これによると、野菜が多くなり豊作貧乏が心配される。反面政府指定の作物を作れば奨励金は出るが沼田や条件の悪い水田ではどうにもならない。これらは農協の管理転作を望んでいる。また何より心配なのは、果樹等新しい営農計画を立てて出荷の段階になって価格の下落はないかという事です。竜丘の米の大部分を生産している兼業農家にとって一番向いた作物であった米を強制減反されては収益低下で泣き面に蜂である。また、今さら麦を作れとは？輸入に頼り、日本の麦作をつぶした農政に腹が立つ。第一、農協の技術員すら麦を知らない者がいる。

減反計画を戸数で傾向を見ると約二割の農家が減反をしないか減反計画が立たない。自家用野菜が最も多く、販売野菜・大豆・桑・飼料作物の順である。減反を期に経営方向を転換する人は少ない。結局農家では、行政の割当として来た強制的減反を機械的、無欲的に消化している傾向にある。それは、米以外の作物に価格保障が無く、収穫・収益の安定した作物が見当たらず、小規模経営では転換・転作すら出来ないからなのだろう。

すでに田植が始まった　小池地区

青年の主張

「仲間意識」

私が青年会へ入ったのは、今から三年前でした。それまでの私は一日の仕事が終わると何をするでもなく、テレビを見たり本を読んだり、たまにはパチンコをしたり飯田へ飲みに行ったりという、今から思うと何のはりあいもない様な生活の繰り返しでした。

高度成長から低成長へと変わって来た社会や職場の中で、それらに不満や不安をいだきながらも、これらを改めていこうとせず、「幸福な家庭を築く事」を人生の目標にしている個人主義的な青年が増えているといわれます。

私は青年会に入った事により、今迄同じ竜丘の中に住んでいながら、ポーツ、レク、話し合いなどの活動を通して、同じ仲間という意識を持つ事ができました。私は一生この竜丘で生活していくわけですから全く知らなかった人達や、他地区の人達と知り合う事ができ、ス事だと思います。さらにこの時期に培われた仲間意識は、必ず将来に役立つものです。そのためにもきたなら、それは大変すばらしい仲間であるという意識を持つ事ができたなら、同じ竜丘の中に住んでいながら、道路ですれ違ってもお互いに声もかけないなどといった事はなくなるでしょう。

そしてその中で自分の住む地域について考える事ができたなら、それは大変すばらしいことだと思います。さらにこの時期が、竜丘の将来をになうすべての青年が、青年会などを通して同じ仲間であるという意識を持つ事ができたなら、同じ竜丘の中に住んでいながら、道路ですれ違ってもお互いに声もかけないなどといった事はなくなるでしょう。

そしてその中で自分の住む地域について考える事ができたなら、それは大変すばらしいことだと思います。さらにこの時期に培われた仲間意識は、必ず将来に役立つものです。そのためにももっともっと仲間を増していきたいと思います。

（岡村　巧）

農協へ公開質問

この様な様々な農家の声を聞き農協幹部に当ってみた。農協からは川手常務と今村生産部長、広報委員から二名が取材した。

問　今年の減反政策をどの様に受けとめ、どう対処していますか。

答　米が余る現状からやむを得ない。米以外の今作っているものへの移行、桑や飼料等の自給率の向上、さらに収益性の高いものへの転作を進めている。

問　食生活の変化から米は余って来ていると思いますが、それにも関わらず食糧の自給率が低下し、輸入食糧が増えている現状をどう思いますか。

答　食糧の輸入には反対で、農業問題の最重点課題として取組んでいる。国の方針も自給率を高める政策に変っている。

問　意欲がわかないのは手間代が低く見積られているのではないのでしょうか。

答　全くその通りであり生産拡大規模拡大の障害となっている。今後も米価と共に努力する。

問　安心して米が作れるのは食管制が有る為だと思いますが、自主流通米・減反により、米の位置が低くなり、今後が心配されますが

答　今後共食管制度を守り育てなければならない。特にこの地域は名柄米がないので廃止されたら買いたたかれる事になろう。

問　竜丘は農道も狭く、車の入らない畑もある。減反により沼田では何も作れない。こんな所は構造改善をしたいが様々な条件と広い面積が必要だと聞いていますが

答　竜丘・川路を対象に国の政策の地域農政特別対策事業を取入れる事になった。三十アール以上のまとまった土地の構造改善と農地法によらないで農地の流動化を促進し専業農家を育てるというもので、国から五〇％の補助が出る。これを利用して新井原では構造改善が行なわれる。

解説　農村は六〇年代からの高度経済成長の中で人口減少、荒廃が進んだ。その中のひとつ、国内の食糧自給率の低下である。麦、大豆の様にあまり見られない物もある。国内の食糧の大半を外国に依存していて健全な経済発展は望めるでしょうか。万一外国で不足にでもなったら……、私達は一俵二～三千円の大豆が一夜にして三～四倍になった事をおぼえている。そこで政府はやっと国内自給率を高める政策を打ち出して来た。減反にしても自給率を高める作物には高い奨励金を出している。しかし一つの矛盾、国内自給の均衡化政策で奨励金の出ないものもある

次に飯田市が始めた価格互助制度（生産費保障制度）は、肥料・種子・薬代等は統計で出る、問題は農家の労賃をいくらに定めるかにより制度そのものの意味も薄れてしまう。現在の各種価格保障制度は労賃が安く見積られている傾向にある。そしてこの次には生産費所得保障方式を確立する意欲が日本の農業を発展させる力となろう。更に強力な政治と農民の為の政策方向転換が望まれる。農家は労働者の様に統一して要求するという事に不なれであり、農協は農民の中心となり農家の悩み解決の為に頑張って欲しい。七月には農業委員選挙も行なわれる。部落順送りでなく地域農業の発展、農業生産力の向上に熱心な人を選んで欲しいものである。

竜丘地区転作作物別集計（単位アール 3月25日現在）

桑	345.82	麦	20.90
飼料作物	337.58	山林	20.01
販売野菜	327.92	水稲育刈	9.30
自家用野菜	232.20	農業用施設	40.73
大豆	225.40	農協預託	60.52
果樹苗池	181.24	その他	88.47
花木種	58.40	（明細なし）	
養漁	42.30	合計	1,990.79

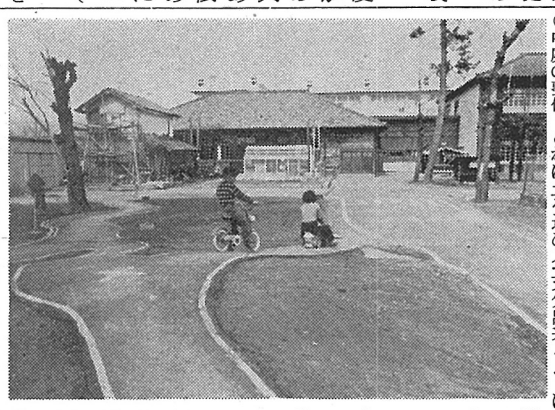
小学校環境整備進む

第二期工事完了

小学校改築に伴う環境整備事業が進められて来たが、一部を残してすべて完了した。

今年度事業は、当初の計画に沿って行われたもので、主なものは①中庭の整備、これは土を運び入れてブロックで囲み、花壇として整備されたもので、昨年五月に花が植られ、子供達の目を楽しませた。②体育館の照明、自治会の協力も得て、夜間の公民館活動等が充分出来るように、四基の照明が増設され、卓球バレー等、地区民のスポーツ、レクレーションの場としても、大いに活用されるようになった③OHP【オーバーヘッドプロジェクター】（教材が拡大、反射してスクリーンに写し出されるもの）についても、新校舎になり、新しい教材として強い要求があったもので、各教室に一機づつ備えつけられ効果を上げている。④交通安全広場についてもプール西側に約二百平方米の中にクランク、S型コース、交差点信号、だんご山等を盛り込んだ自転車安全教育の場が、以前より立派に出来上った。⑤その脇に温室が設置され二・六m×四・六mの室内を使って、冬でも草花を観察、育成する事が出来るようになった。今はパンジーが満開で、子供達も喜んで世話をしている、この外玄関前の舗装、前庭、中庭の芝張り土蔵（倉）の修理（現在工事中）剣道クラブの防具収納棚、又併せて児童図書の購入三七四冊の購入もされ、子供達に利用されている。

自転車置場も新設された、これらに用いられた費用は、約三五〇余万円で、当初計画されたものは完了した訳であるが、これらの施設は教育の場として最大限に利用されることは勿論であるが、地域住民の拠としての活用も望まれている。この外、スケート場、体育館等の整備が今後の課題とされるが、生徒数の増加に伴う南校舎改築の運動展開と共に、更に充実を地区民全体で考える必要があるだろう。



中庭に出来た交通安全広場

時又駐在所着任のあいさつ

この度の移動により木曽警察署から飯田警察署時又警察官駐在所に参りました山岡でございます。

前任地におきましては機動取締りが主でしたため駐在所勤務は経験が浅いので色々と皆様にお世話様になると思いますが、前任者同様よろしくお願いいたします。尚前任者大沢様は山本駐在所に転勤になりました。

飯田はたいへんあたたかい所と聞いて喜んで来ました。早く地域

随想リレー【106】

一寸一言「こんにちは」

桐林　田中千五穂

戦後三十余年、時代は目まぐるしく変ってまだまだ変りつつあります。平和と云うことは何んとすばらしいことでしょうか。再び戦いをおこしてはならないということを強く思います。しかしこの頃いろんなことが歯車がくるっていて、これでいいのかなあとしみじみ感じるのは私一人だけでしょうか、或る日高校生らしき若い娘さん三人が我が物顔で道一っぱいになって歩いて来ました。私達は端の方に寄っていたところ彼女達は私たちの前を肩で風切る如く通り過ぎたのです。私は其の中の一人でも一寸会釈なりして行くものと期待していたのに……そこに居るのが邪魔だと云わんばかりに通り過ぎていく娘さん達の後姿に何か悲しくなりました。「人のふり見て我がふり直せ」とか、この間も見ず知らずのおばさんに道で逢いましたところ、「今日は」と云われてあわてて「お寒うございます」と返事をしました。それから後は目上の人に対しては先にあいさつをするように心がけております。またこんな事もありました。或る日バスで鍋屋前まで来た時、前に居た中年の紳士が降りました切符を入れながら「有難うございました」との声に運転手さんも「まっていると聞いています。毎度ありがとうございました」とオ…「おはよう」という（挨拶）ア…「ありがとう」という（感謝）シ…「しんせつ」をする（親切）ス…「すみません」という（謙虚）返事をされました。私は何か晴々としたさわやかな気分にさせられました。この頃は乗ってやったといわんばかりに黙ってお金を入れて降りていく人が多いだけに、心を打たれたのかと思います。年代の違いはものの考え方がちがうといい「断絶」とかよくいいますが私も大正末期の生れで其の時代の価値感で判断し、その時代を基準にして考える古い考え方だという信じます。

小中学校の子供を中心にして、家庭や社会に広めていこうという方針のようですが、すばらしいことだと思います。子供から教えられることも結構ですが、しかしこの実践は、先づ私達親や大人が勇気をもって子供達に見本を示そうではありませんか。その時にこそ砂漠のような荒れた人間の社会に「オアシス」を発見出来るものとして信じます。

しかし私は時代がどんなに変ろうともいくら世の中が進歩しようと人間の世界に変ってならないものがあると思うのです。と申しますのは、私達はどんなに威張って見てもこの世で一人で生きることは不可能です。人と人との間が人間であり、自分以外のすべての人に支えられてはじめて生活することが出来るからです。

この頃「オアシス運動」がはじそしりを受けるかも知れません。

ヤブ蚊

★最近地区内を走ってみると、盛んに新築工事が行なわれており、随分家が増えたことに気付く。特に市営団地の出来た長野原地区、駄科駅近辺、桐林学校近辺、時又安城垣外等の変り様には驚く。この傾向は今後も増えつづけることが予想され、住宅地としての竜丘の側面をみのがすわけにはいかないだろう。これに対する行政面の対応の面で市営団地の例をあげれば、時又区に編入することに決定したが、独立区として運営させていくのも一方法ではなかったか…

★又竜丘をとりまく人の流れの面でも変化があるのでは…。特に商店関係の方は敏感に感じとっている。それはユニー、西友の進出で人の流れの変った飯田の例とまではいかないが、客ばなれ、売上げの減少となって現われている。時又商店街の場合を上げれば新しい天竜橋が下流に作られる話しもあるようで、今以上に不利になることが予測され、危機感をもつなかで対策に苦慮している。これは一部の問題として片ずけることもできるが、竜丘の発展との立場で地区全体でも考えてみる必要がありはしないか…。当事者の積極的な努力に期待したいが…。

★減反減反といわれ、転作もままならず農家にとっては頭の痛いことである。政府も認めたが自給をおざなりにした農政に根本的な問題がある。しかし竜丘の減反の状況を見ると、積極的に方向転換をめざして減反、転作をする人はわずかで、大半は上からいわれたので減反するとの消極的な考え方である。やはり自分達の生活は自分達の力できりひらいていくとの積極的な考え方も必要であるし、農政を変え農業本来の姿をとりもどすために、農協も農業を守り育てるとの立場に立ち農家と一体となって対処していく必要がありはしないか…。

★昨年基本構想ということで竜丘でも検討されたが、準備不足か総論があまり出ず、現実的な要望が多かったように思うし、今はどこかへとんでいってしまった様だ。竜丘の将来の姿を考える中で、さまざまな現実問題にも対処していきたいものだ。

―――――

の皆様にとけこんで竜丘地区のために頑張る所存でございますのでよろしくご指導の程をお願い申し上げます。

事故のない明るい竜丘地区でありますようお祈りします。

人生儀礼を考える

――長野原婦人学級の成果――

長野原婦人学級（会員一九名）は二月行なわれた竜丘文化祭の中で「葬祭の現状と問題点」と題してグループ発表を行なった。

昨年の秋にも飯田市で主催した「暮しと健康を守る消費生活展」においても同じ内容で発表しており、その都度見学者の共感を呼び又、様々の問題を投げかけて来たこれは長野原婦人学級が一年半にわたり地道に研究、調査した成果の記録であり、余り触れない問題だけに、その中味は特筆されるものがある。

月一回の集まりの中では、レクに始まり誰でも気軽に発言できる雰囲気づくりに置かれ、三つの班に分けての分散会や全体会議の場が持たれ、自主運営の道が会員の中で育くまれている。

会員の中から「お淋見舞」の際の封筒をめぐり、祝儀袋か香典袋かの論議から話が発展し、この際長野原地区の葬祭の現状や慣例、そして形態を知り、問題点や改善すべき所があればとの認識に立って討議がすすめられて来た。

会員が人生儀礼を自分達の問題として考える年令にも達している事からも、この問題に取り組んだ熱意がうかがわれる。

文化祭の中では一部の発表にすぎなかったが、長野原の現状のみならず竜丘地区の現状、そして問題を提起した発表として多くの人達に深い共感を与えた。

婦人会の衰退、低迷の中で長野原婦人学級が地区婦人運動の導火線の点火になる事を期待したいものです。

私達は人生儀礼のうち葬儀を取りあげました。仏式による葬儀の標準の形態（宗派により異る）の学習から種々の問題点の解決方法を見い出そうとしております。勿論学習の途中でありますので今回の発表は未熟なものでありますが、女性の分野として料理の調査等も致しました。資料全部の発表が出来ませんのが残念です。

葬祭の現状と問題点

竜丘長野原婦人学級・生活学校

葬儀

- 当家
- 組合
- 近親への連絡
- 仏様の安置
- 通夜
- 納棺
- 精進落し
- 葬儀の打ち合せ
- 便宜
- 市役所への届
- 葬具の調達
- 寺へのお願い
- 穴掘り
- 帳付
- 接待
- 葬列の発表

- 電話・電報等で知らせる。
- 遺体は北枕にねかせる。
- 眸を曲げ手を組ませる。
- 魔よけに刃物を枕もとにおく。（糸ワク・オサを用意する事もある）
- 遺族・近親者・親友が仏様と一夜を共にする。
- 体を清めて衣類を着替えさせる。
- 顔を美しく整えてやる。（僧侶にお願して読経をしてもらう）
- 組合や親戚にお願して精進落しをしてもらう。
- 料理は組合で作り当家は接待にあたる。
- 親戚や知人に知らせる。
- 長野原の場合は各組長さんに通知を届け組下内に廻してもらう。
- 死亡届（診断書含む）（住所地と本籍地のちがう場合2通必要である。
- 印鑑
- 墓地の地番（土葬のみ）
- 有線への依頼。
- 葬具は出来るだけ多く組合で作る。
- 葬具（上記以外）及び祭壇を注文する。（当家の希望により）
- 遺影の注文
- 日時の打ち合せをする。（戒名等は当家で依頼する。
- 組合内で掘るか又は葬具店へ依頼する。
- 組合で担当し記帳して帳尻を合せて当家に渡す。
- 全般の接待をする。僧侶には別室にて接待する。（出棺まで）
- 役付けは当家で決め組長が発表する。

何んでも寄附じゃあかなわんに

社会体育振興資金づくり

竜丘地区の社会体育振興資金づくりが自治会と公民館で行なわれている。この取組みは公民館の呼びかけで行っている柔道・卓球・少年野球・バレーボール・バドミントン等の教室と、早起野球グループなどの要求を公民館企画会議で協議をし運営審議会に計り、自治協議が主体となり募金を始めたものです。

今回、社会体育振興の為に必要とする施設及び用具として要求された物は、柔道畳（百畳）四十万円、卓球台（六台）三十万円、バックネット二十万円、排球ボール外十八万円、用具置場（一棟）三十万円、合計百三十八万円です。募金という形で各区で取り組まれ三月末現在で…

長野原（一五〇戸）十四万四千円　時又（三五一戸）三十万三千円　桐林（二四三戸）二十二万千円　上川路（一〇六戸）十万三千円　四区合計額七十七万千円です。目標に対して募金達成率は五五・八％です。尚駄科区は取り組みが遅れている。全体の不足分は法人事業所の篤志寄附で補う計画です。各グループへの資金配分は自治会が行う事となっています。

【解説】今回の取組みは、いくつかの問題を含んでいるようです。柔道教室の畳不足をきっかけに、各グループが要求を出し、そのほとんどが原案のまま地区民に訴えられた訳です。

必要とされた施設・用具が絶対必要な物かどうか、市の助成で設置出来るかも知れないバックネット。又当然個人負担もあって良いバレーボール。学校当局と話し合いの必要な用具置場。地区民に訴えるには討議不足で安易な方法を取ったと言えるのではないでしょうか。

物事を民主的に進めるには、計画と集金方法を地区民に知らせ、上意下達だけでなく、部落常会などでの地区民の声とか、各団体の意見を聞き、再び検討を加え決定し実行に移す方法が行なえないものでしょうか。〝皆が参加する皆の公民館〟では大切な原則ではないでしょうか。自治会の皆さまにもこの点ご理解お願いします。「募金」の名目で集金する方法も今までの自治会方式が抜けきれず、区民にとっては税外負担金として均一徴収では問題が残ります。今回の弱点としては、自治会任せで公民館としての主体性が生かせない。各グループ責任者は金集めだけでなく「募金」活動を行う中で、各グループの実体と要求を地区民に理解してもらい、援助を受け活動を発展させる事が必要ではなかったでしょうか。

村の記録映画

八ミリに複製成る

今から二十七年前の昭和二十六年～二十七年にかけての竜丘村の姿を記録した十六㎜フィルムが保存されていることをご存じの方も多いと思います。昔のフィルムは今とは違って材質が悪く、現在では映写することも出来ない状態にあり、前々から早い時期にこれを複製し、活用、保存しようと言われてきて、公民館予算にも計上されてきていた。しかし八方手をつくして複製する所をさがしていたが、とにかくフィルムが悪いため無理との返事で、その複製があやぶまれていた。そこでこの話しを聞いた写真マニアである駄科の代田秋弘さんと小林公さんの御二人が、私達がやってみましょうと申し出があり、御二人にお願いし、この程八㎜フィルムに複製が完成した。

複製の方法は、直接転写することができないため、一人が十六㎜フィルムをスクリーンに映写し、それをもう一人が八㎜に撮映する方法をとり、所々切れた所をつないでは映写、撮映との非常なめんどくささもいとわず、その苦労は並大抵のことではなかった。映写時間は四十分であったものを二十分に編集され、当時無声であったのを北沢小太郎さんが担当されて解説も入り、バックには当時流行した音楽も入っている。

記録されている主なものを上げれば、◇駄科・時又駅の様子◇時又の初午祭り・駄科のあまざけ祭り・おやくしの祭り◇消防団・青年団（国土調査に取り組んだ様子）◇小学校（学校水道工事・給食・運動会）◇公民館（文化祭・全村運動会）◇山林の植林風景◇郵便局・銀行等であり、終りには現在の初午祭りも追加されており、当時の祭りと対比してみれるようになっている。

とにかく貴重な宝であるので機会をつくって一人でも多くの方々に見てもらいたいものである。

…時又初午はだか祭り…

……ミソギの一コマ……

長野原団地

入居始まる

昨年十月から工事の進められていた市営住宅長野原団地の建設工事は、三月末に初年度分工事（住宅二十四戸建設）が完了した。

入居者募集は三月十六日～二十五日の期間中に受付が行われた。申し込み資格は、①市内居住者、②現在住宅に困窮していること、③現に同居し又は同居しようとする親族があること、④公営住宅法施行令第五条に規定する基準収入があること　が条件である。三十日には抽選で入居者が決定され、四月二日から入居が開始された。

新しい住民をどこの行政区へ含めるのか、又は独立した行政区を作るのか、自治会、長野原区、時又区等で検討されてきたが、最終的には時又区に編入することに決定された。

▼工事概要

第一種住宅八戸、第二種住宅十六戸、浄化槽、消火栓、取付道路の拡幅（巾員六m）（ホッキへおりる道は工事中）

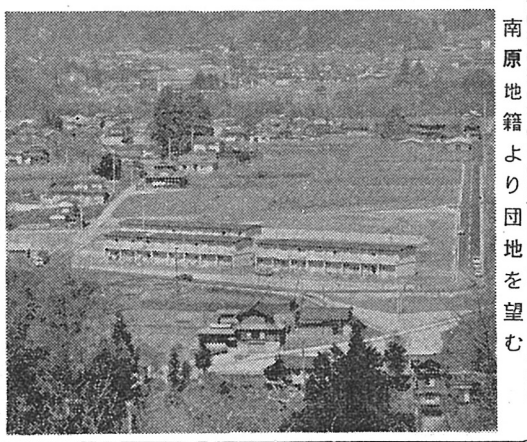
▼家屋の構造

簡易耐火造二階建、一戸分面積は第一種五八㎡、第二種五五・五㎡、家屋の構成は一階が四・五帖台所、洗面脱衣所、浴室、二階は六帖、四・五帖、押入となっている。

◀家賃

第1種　16,000円

第2種　11,000円



南原地籍より団地を望む

告知板

新たに発足したグループの紹介

●大正琴　竜丘地区では駄科が一番早く発足し、昨年の文化祭発表がきっかけとなって桐林に出来他分館でも高令者に希望が多かったので高令者学級の学習の一環として取上げることになり、約五十名で四月十一日に発足、昼と夜に分れて月に二回ずつ練習している

●ギター・マンドリンクラブ　公民館にもこういうクラブがあってもいいのでは？と募集した所十三名の参加が得られて四月十九日に発足。毎週水曜日が練習日。松沢敏彦、関島直美さんの指導で基礎からみっちり勉強している。

伊那谷に春を呼ぶ時又の初午はだか祭りが、今年も寒空の三月十二日に盛大に行なわれた。今回はこのはだか祭りの保存会会長の片桐寿さんを、お祭りの余韻が覚めぬ三月十三日に長石寺下の自宅にお訪ねしました。

鉛筆かついで

「地域の祭りに」

時又　片桐　寿　さん

片桐さんは昭和二十六年に時又で歯科医を開業され、以来竜丘小学校をはじめ各地の学校医を勤められ、現在も七校の校医をなさっておられます。

又、公民館活動にも積極的に参加され、時又公民館の主事、本館の体育部長等、十年程活躍なさってきました。現在飯田歯科歯師会の副会長としてお忙しい毎日です

その傍らで初午はだか祭りの保存に大きな力を注がれています。四年前、人手不足等の問題ではだか祭りが中止になるかと思われた時、これではお祭りが無くなってしまうと感じ、若い人達を集め、この祭りの性格を「自分達の祭りである。自分達でやる祭りにしよう」と呼びかけ、多くの地区民もはだか祭りの存続に喜んでもら えるし、時又だけの祭りではなく竜江の舟渡地区から、それぞれ自分達の御こしをかつぎ、長石寺へ合流する方法などとりたい。そして商業政策的、宗教的な枠にこだわらず「地域の祭り」として大いに発展させたい……と熱っぽく語って下さいました。

お話しをうかがう中で、片桐さんがどれほどこの地域（郷土）を愛しているか、又若い人を始め人々との心のつながりを求めているか……が記者の心に強く感じとれました。

竜丘の人達皆んなが保存会に入会し、皆んなが御こしをかつげる日が一日も早く来て、名実共に自分達による自分達の祭りに発展する事を願いながら、片桐さんのお宅をおいとましました。

伊那谷の祭りであると訴え、保存法も会員の意見を聞く中で、より効果的な演出ができる様になってきています。

今後の構想と前置して、現在の御こしの外に、時又の島常会や安城、市営住宅等の各方面から、又はだか祭りの存続に喜んでもら えるし、時又だけの祭りではなく竜江の舟渡地区から、それぞれ自

あの人この人

（十一月二十二日～三月三十一日）

◎永遠に幸あれ

（下平）広史　（佐藤）妙子　駄科　横浜市より
（鎌倉）芳昭　（下平）三津子　時又　南信濃村より
（牧島）修　（中塚）明子　駄科　高森町より
（伊藤）理利　（関島）政子　中村　桐林より
（尾沢）敏秀　（牧島）良子　上飯田　駄科より
（木村）節夫　（小笠原）和江　高森町より　桐林
（木下）政利　（吉川）昭子　駄科　三日市場より
（橋爪）一広　（松下）浩子　駄科　飯田より
（木下）寛美　（関島）秋子　上久堅　駄科より
（小鹿）和博　（井口）正子　神奈川県　上川路より
（沢田）勉　（佐藤美代子）豊丘村　時又より

◎伸びよ健やかに

氏名	部落	父名
岡島　恵美	桐林	顕一
熊谷　佳織	桐林	健治
倉沢　孝道	桐林	慎策
岡村　典孝	駄科	和弘
長谷部　徹	上川路	進
小林　和美	時又	重光
河井　善子	時又	洋治
小市　暁子	時又	宏幸
海野　赤石	駄科	良三
山田さお理	時又	勝人
久保田広子	駄科	正広

■御冥福を祈る

氏名	部落	性	年令
加藤　志ヅ	時又	女	八〇
下平　克己	時又	男	八〇
久保田　貢	駄科	男	七二
原田　計一	上川路	男	七一
下平　とみ	桐林	女	七二
下平ふさゑ	駄科	女	八七
下平　ゑつ	駄科	女	九一
今村むつゑ	時又	女	八二
折金　正美	駄科	男	七一
坪井平四郎	駄科	男	八二
篭田まつよ	上川路	女	六四
久保田千枝子	時又	女	五〇
下平不二夫	駄科	男	七二
岡島　耕平	時又	男	七二
伊原千代江	時又	女	七七
沖田か年茂	時又	女	七八
原　三津男	時又	男	八〇
増田　宏司	上川路	正司	
林　美知子	桐林	勝彦	
橋本　友幸	時又	時男	
三石　加代	駄科	欣司	
森　久美子	上川路	義宏	
白井　敬	桐林	寿一	
木下小枝子	時又	和彦	
木下小緒里	駄科	昌治	

編集後記

公民館活動も五十三年度に入っていますが、五十二年度最後の館報が遅れに遅れてやっと皆様のお手元へ届けることができました。やはり時期を失すると記事も古くなるもの。次号より新メンバーにバトンタッチしますので宜しく。